



2020年8月4日

各 位

会社名 ヤマシ フィルタ 株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 山崎 敦彦
 (コード番号: 6240 東証第一部)
 問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長 井岡 周久
 (TEL. 045-680-1671)

新たな事業の開始による業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月4日開催の取締役会において、新たな事業の開始により2020年5月19日に開示した2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想の修正を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,000	590	560	340	4.91円
今回修正予想 (B)	15,000	1,230	1,200	790	11.42円
増 減 額 (B - A)	2,000	640	640	450	—
増 減 率 (%)	15.4%	108.5%	114.3%	132.4%	—
(参考) 前期実績 (2020年3月期)	12,674	777	603	608	8.79円

(注) 前提為替レート 米ドル 108円 (前回見通し公表時 108円)

ユーロ 121円 (前回見通し公表時 121円)

2. 業績予想の修正理由

1. ヘルスケア事業 (新規事業)

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う恒常的なマスク需要増大に対処すべく、当社独自技術である合成高分子系ナノファイバーを活用したマスク並びに取替用インナーシートを製品化し、当社のECサイトを通じて2020年5月より販売を開始しました。また、70年に及ぶフィルタの専門メーカーとして培ってきた技術を活かし、新たにNIOSH(米国労働安全衛生研究所)の規格の一つであるN95マスク(注1)(日本の厚生労働省による、SARS(重症急性呼吸器症候群)、MARS(中東呼吸器症候群)、新型インフルエンザや結核菌の対策指定マスク)の性能基準をもとに、①フィルタ性能—捕集効率95%以上(注2)、②密閉性—装着中の顔とマスクの密着率90%以上(注2)、③通気性—長時間装着での呼吸のし易さ、というマスクに必要な3大性能を実現した一般消費者向けマスクとしては世界で初めてのヤマ

シン・オリジナルマスクの販売を2020年9月より本格化してまいります。このように当社のマスク事業は、当社独自技術を活かしたフィルタシートやマスク性能の差別化による全く新しいマスク市場の開拓を図るパイオニアとして、中期的な事業ポートフォリオの拡充を図ってまいります。このような取り組みの結果の一つとして、2020年9月以降ドラッグストアチェーン等に対して本格的な量産供給が開始される見通しとなったことから、新たにヘルスケア事業としての業績貢献が見込まれます。

(注1) N95 マスク (Particulate Respirator Type N95) とは、アメリカ合衆国労働安全衛生研究所 (NIOSH) の N95 規格をクリアし、認可された微粒子用マスクのこと。

(注2) 当社調べ

2. 建機用フィルタ事業

前回通期の業績見通しを公表した2020年5月19日時点と比較し、新型コロナウイルスの感染拡大第2波、第3波の影響などを踏まえ、世界経済全体や為替動向に先行き不透明さが残る中、当第1四半期については、2020年3月以降継続して行われた各国でのロックダウンの影響により主要得意先各社の生産活動やサプライチェーンに大きな影響が生じ、納期対応のための航空運賃の一時的な発生等により当社の第1四半期の業績は低調に推移しました。しかしながら、世界最大の建機市場である中国市場においては、日系メーカを中心とした当社の主要得意先各社の市場占有率が大幅に縮小し、中国系建機メーカの市場占有率拡大が継続する中、主力のリターンフィルタを中心とした当社製品の中国系建機メーカへの標準品採用が着実に進捗している結果、第2四半期以降、当社の建機用フィルタ事業における業績は回復が見込まれることから、通期の業績予想を据え置きます。

3. エアフィルタ事業

エアフィルタ事業の業績見通しについては、株式会社アクシーの受注動向を踏まえ、予想を据え置きます。

4. 結論

以上により2020年5月19日に公表しました通期連結業績の修正を行います。

(ご参考)

1. 連結業績予想値の修正概要

- a. 売上高については、建機用フィルタ事業及びエアフィルタ事業に関しては、通期の業績予想を据え置きます。一方で、新規ヘルスケア事業として、2020年5月より開始したマスク並びに取替用インナーシートの販売が2020年9月以降ドラッグストアチェーン等に対して本格的な量産供給が開始されることから、全体で15.4%の増収となる見込みです。
- b. 営業利益については、新規ヘルスケア事業の立ち上げに伴う売上高の増加に伴い、前回開示した業績予想に比べ108.5%の増益となる見込みです。
- c. 経常利益については、営業利益の減少等により、前回開示した業績予想に比べ114.3%の増益となる見込みです。
- d. 親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益の減少に伴い、前回開示した業績予想に比べ132.4%の増益となる見込みです。

2. 事業セグメント別の見通し

(建機用フィルタ事業)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	10,000	300	290	200
今回修正予想(B)	10,000	300	290	200
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
前期通期実績 (2020年3月期)	11,296	654	468	306

(エアフィルタ事業)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	3,000	290	270	140
今回修正予想(B)	3,000	290	270	140
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
前期通期実績 (2020年3月期)	1,377	122	134	323

(ヘルスケア事業)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—
今回修正予想(B)	2,000	640	640	450
増減額(B-A)	2,000	640	640	450
増減率(%)	—	—	—	—
前期通期実績 (2020年3月期)	—	—	—	—

以上